

第6編

● 7月15日(水) 雨 礼文島から戻る

・朝5時半に起床、昨夜から雨が本格的に降り出し今も降っている。右隣の名古屋の車はもういない、昨夜左隣に止まった広島の子ととの間に岡山の子が止まっている。

パン、コーヒー、チーズ、トーストで朝食を済ませ、4晩もお世話になった駐車公園を7時前に出て香深港へ向かった。とうとう礼文島ともお別れ、なかなか良い5日間だった。

・改札は7時半だったのを7時と勘違いし30分も早く着いてしまった。トイレへ行ったりぼんやりして時間をつぶし、7時35分

に乗船券を交換して8時20分乗船、来たときと違って荷物を運ぶトラックや観光バスなどで車両甲板はいっぱいだ。船は定刻の8時45分に雨の香深港を稚内に向けて出航した。船内は椅子席はなく全て絨毯敷きの床部屋。朝早いのに船客で満員、寝どころか膝を立てて座るのがやっと、座るスペースも無く立っている人もいる。こんなに来ていたのか、天気がわるいのでみんな帰るのか。隣に居合わせた神戸からのご夫婦とおはなしし「礼文島は初めてで、大変良いところだった」というので「花

いっぱい6月にもう一度いらっしやい」といっておいた。

・定刻の10時半に小雨降る稚内に上陸、ダイソーによって小物を購入してから日帰り入浴の「童夢」へ向かった。ここは何時

も盛況だ、平日のまだ昼前と言うのに大勢の人で混雑している。ゆっくり入浴して礼文島での疲れを癒し珈琲付カツカレー(780円)で昼食。

・外は霧雨が降っていて気温は寒い、とにかく南下してみることに。まずはサロベツ原野の海岸線に果てしなく続く国道106号線を走って「てしお」に寄ったが、ここも雨なのですぐ南の「富士見」まで、更に南下して「しょさんべつ」「ほっとはぼろ」とどんどん走り、とうとう「風Wとままえ」まで来てしまった。ここまで南下すると天気も回復し青空も見える。この温泉は500円だ、童夢で入らないでここまで来て入れればよかった。もう4時を過ぎているので今夜はここで泊まること



雨の中香深港で出航を待つ



サロベツ原野の海岸線に道は果てしなく続く

にした。レストランのメニューを見ると安くて旨そうだが、今夜は我慢、まだ残っているホッケの煮つけでビールを飲む。突然大雨が降り出しあわてて車の中へ避難、1時間ほどで止んだがその後に見事な二段の虹がかかった。ホッケの煮付けの鍋にキャベツとサッポロラーメンを入れて特性ホッケラーメンを作って夕食とした。なかなかいける。ビールも酒も入って良い気分で今日も終わる。広い駐車場に車はチラホラ、



見事な虹がかかった

トイレ・洗面所はホテルの中にあり遠いのでペットボトルの水で歯を磨いて寝ることにする。天気は回復しそうで明日からが楽しみだ。

● 7月16日(木) 曇り 移動(苫前～当麻)

・昨夜は暴風雨が荒れ狂った。唸りを上げて吹きまくる風で車が揺れ、叩きつける雨の音で熟睡できなかった。

・朝4時半に起床、雨はなんとか上がっているが風が強い。この道の駅「風Wとままえ」はホテルの併設できれいだが、トイレ・洗面所がホテルの中にしかないので炊事、洗濯が出来ない。敷地の公園にある水道は止めてあるし、併設のキャンプ場は夜ゲートを閉めてあつて入れない。泊まるには実に使いにくい道の駅だ。おまけにテレビは圏外で映らないので情報が全くわからない。空は厚い雲が覆っていて、時々明るくはなるが、またすぐどんよりとしてみまいもうだめ！とにかく情報が欲しい。とりあえず旭川へ行って情報を集めてから出直すことにした。予定の期間はまだ半月近くあるから、後半の計画を十分練り直してから再スタートを切ることにした。

・7時過ぎに旭川に向けて出発した。波荒い日本海に沿ってまっすぐ走る国道232号の海岸線を南下、時々出会う車は100km近い猛スピードで飛ばしているが、私は70kmの安全速度でのんびり走る。まず寄ったのが一昨年にも来た道の駅「おびら鯨番屋」、なかなか趣のある良い駅だ。留萌から東へ折れて北竜へ、去年も泊まったがメルヘンチックなおとぎの国のような駅だ。天気は悪いし車もほとんどいない。



道の駅「おびら鯨番屋」

次は隣の秩父別へ。今年は何故か一昨年と比べて北海道を回っている人が少ない感じがする。ここ道の駅「鐘のなるまち・ちっぷべつ」も人がチラホラで寂しいかぎりだ。次に寄った「ライスランドふかがわ」も、去年は車がいっぱいで止める場所を探すのに苦労したし、食堂は満杯で待っている客が溢れていたが、今年はまだ朝早いこともあると思うが、閑散としていてガラガラ。



- ・旭川へ入ってコインランドリーを探して **がらがらの「ライスランドふかがわ」** 走った。ナビが指定した場所へ行ったらそこにはセブンイレブンがあった。そこで聞いたら「以前ここにあったのですがね」とのこと。洗濯はあきらめ当麻へ向かった。途中ガソリンを入れホームックでブースターケーブルを購入。これでバッテリー上がりは一安心。
- ・昨夜はあまり寝られなかったし、コインランドリーに裏切られ、ガソリンスタンドを探して走り回り、天気は良くないし、人が少なくて寂しいし、心身ともに疲れて弱気になってきた。切り上げて帰ろうかなと！
- ・先日当麻のおじさんに教えてもらったヘルシーシャトー横の公園の駐車場に来た。ここは良い、東屋のような屋根付の休憩場があって、トイレもあるし水道施設が2箇所もある。ひとつは流し付きだ。とにかく今日はここに泊まることにした。まだ12時半だ。「ライスランドふかがわ」で買って来た「すし弁当」で昼食をとり、流しで下着類を中心の洗濯を始めた。弁当はなかなか旨い。天気が良くないので洗濯物が乾くかどうか、とりあえず車のドアなどにハンガーに吊るしてぶら下げた。風があるから何とかなるか。東屋のベンチに座って珈琲を飲みながらこの日記を書いている。現在14時20分。

・風呂へ入りテレビで明日からの天気を確認し(やっとテレビが映るところへ来た)、明日からの行動予定を立てようとした。雲が切れて太陽の陽が差してきた。風もあるし洗濯物がだんだん乾いてきた。隣に横浜ナンバーのアルファードハイブリッドが止まった。金沢区の島崎さんご夫婦と言う。ほかに広島ナンバー軽ボックスのやくざ風のおやじさん(57歳)と、小さい犬をつれたへんなおやじさんが止まっている。横浜と広島といろいろ話して楽しい時を過ごした。



雲が切れて太陽の陽が差してきた

・広島のおやじは松永さんといい見掛けと違って面白く「軽が故障で動かなくなり、ここに長期滞在中、12万kmの今の車を15万kmの軽に買い換えるので車が来るまでここで待つ

ている」とのこと。すっかり土地の人たちと仲良くなり「いっそのことここで生活したら」と言われているとか。金沢のご夫婦には「旨い米なので是非炊いて食べろ」といってお米を分けてもらった。

・夕食はほたてでビールのあとタマネギ、キャベツのいっぱいはいった焼きそば。

天気が回復して明日は天気が良さそうだ。暑寒別岳へ登るアプローチだ。おやすみ！

● 7月17日（金） 晴 移動（当麻～暑寒別岳登山口・暑寒荘）

・朝4時半起床。雲が多いが天気は良くなりそう。広島松永さんが早々と朝食の準備をして休憩所の机いっぱい広げている。私もパン/マーガリンにレタスとトマトと珈琲で簡単に朝食を済ませた。横浜の島崎さん、広島松永さんと色々話をしながらのたのしい朝食だった。8時前にみんなと別れて出発。広島松永さんは当然ここに居残り、横浜の島崎さんは美瑛へ行くとか、私は明日暑寒別岳へ登るため登山口へ向けて出発した。

・深川、滝川、雨竜と道の駅を回っているうちに空はすっかり晴れて真夏の太陽がじりじりと射している。明日も天気はいいのだろうか。腹が減ったので道の駅「サンフラワー北竜」に寄って天ざる蕎麦（¥840）を食べた。



食後駅の裏へ回って見渡すかぎり向日葵畑が広がっている。こりゃすごいわ！明野の向日葵畑なんて子供だましに思える。「サンフラワー北竜」の意味が良くわかる。特に快晴の空に向日葵がよく映えてすばらしい。写真を撮りまくってゆっくり景色を堪能してから増毛方面暑寒別岳登山口へ向かって、真夏の太陽の陽が降り注ぐなか、車がほとんど通らないハイウエーと勘違いしそうな国道94号線を西へ向かった。増毛の町を回ってみたが、ごく小さく、こじんまりとした町で、さくらんぼの産地らしい。暑寒別岳へ向かう道路の両側にはさくらんぼ畑が広がり、さくらんぼを売る小屋が並んでいる。ちょっと買いたい衝動に駆られたが我慢して登山口を目指して走った。

・登山口には広い駐車場があり、一段上に立派な山小屋「暑寒荘」が建っている。小屋の中を覗くと部屋は数個の個室で構成され、流し、トイレが完備、おまけに布団まで用意してある。これで無料だから立派なものだ。駐車場には車が4～5台止まっていて、しばらくすると一人下山してきた。「今日は天気がよくて頂上も晴れていた、ただ蚊が多くて閉口した」と言う。蚊の大群は摩周岳で経験しているので、それを聞いたとたんに登るのがいやになった。でもここまで来たのだから仕方がない。そのうちに広島のご夫婦や地元の若者2人などが下山してきて、3時半には全員下山、車で下ってしまい私の車一台が取り残された。

気がつくとも下山者が連れてきたのか回りに蚊が乱舞している。陽がかけり涼しく寂しくなってきたので、早めに夕食を取って寝てしまおう。今4時45分、日記を書き終わりキューリ、ピリカラチキンを肴にビール、酒。マルチャンの五目ピラフ(282kcal) /インスタント味噌汁で夕食。広い駐車場は私が独り占め。夕方札幌の車でおじさま一人合流。結局駐車場に車2台で今日は暮れた。



登山口駐車場と暑寒荘

● 7月18日(土) 曇 pm大雨

暑寒別岳(1491.4m)

・夜12時過ぎにトイレに起きたら満天の星空、北海道に来てこんなにきれいな星空は初めて見た。今日の暑寒別岳は晴天が期待できるぞ!と思いつつまた寝た。

・朝3時50分起床、期待した空はあまり良くない。登山準備をしてパンと牛乳/コーヒーで朝食を済ませ4時55分に出発した。駐車場設置のトイレはなんと!簡易水洗だった、こんな山奥のトイレも水洗にしてある、感激! 昨夕来た札幌のおじさんも(かなりの年配)同時に出発した。天気はまあまあで快適に歩く。草つきの林の中の道が延々と続くため蚊が多く、ちょっとでも立ち止まると全身真っ黒になるくらい、花の写真でも取るものならたちまち餌食になり、写真なんて撮ってられない。蚊を振り払いながら休むことなく5合目まで2時間近く歩きっぱなし。



滝見台でやっとな一服



シマリスがお出迎え

5合目で一休みしたが、ここでも蚊に襲われすぐに出発。滝見台は小さな岩場で木がなく風が通るのでやっとな蚊から開放され一服、シマリスもお出迎えしてくれた。一休みの後また蚊の群れに突っ込み8合目の扇風岩でまた一休み、頂上がすぐ間近に見え出し眼下には増毛の町と日本海が開けて見える。



8合目の扇風岩でまた一休み、頂上がすぐ間近に見え眼下には増毛の町と日本海が見える。



マシケゲンゲがいっぱい



頂上に雲がかかってきた

・頂上近くの9合目からはマシケゲンゲやネムロシオガマ、ミヤマアズマギクなどの花がいっぱい現れてきて写真を撮るのに夢中になったため時間をロスし、今まで見えていた山頂に雲がかかりだした。

・山頂に着いたらすっかり霧に包まれ視界が無い。昨年歩いた南暑寒岳への稜線を見たかったが残念ながら全く見えない。山頂付近で花を撮ったり休んだりして20分近く楽しんだ。一緒にスタートした札幌のおじさんを後ろに置いて私一人でどんどん登ってきたが、頂上で休んでいたら別の人が一人登ってきた。菊池さんという旭川のおじさんで今朝入ってきたらしい。結局下りは菊池さんと話しをしながら歩くことになった。



暑寒別岳山頂

・北海道の山にはかなり詳しい人で、昨年登った神居尻山や黄金山などの話が出た。下りはスピードが速いので蚊の襲撃は殆ど受けずにすんだ。途中ランニングで登ってゆく数人の

高校生とすれ違い（毎週トレーニングしているとのこと）、他に登ってくる数パーティとすれ違ったが、一緒にスタートした札幌のおじさんは大分遅れて登ってきた。振り返ると山頂付近はすっかり雲の中に隠れていた。

・13時ちょうどに駐車場に到着、と同時にものすごい雨が降り出した。荷物を車にほりこんで車内に避難、何の整理も出来ないままで車を走らせ昨日来た道を雨竜へ戻った。途中もバケツをひっくり返したようなすごい雨の中を走った。登山中は降られずラッキーだった。昨年も止まって印象が良かった道の駅「つるぬま」に今夜は止まろう。3時過ぎに「つるぬま」に到着し、早速風呂（¥400：ただしシャンプーの備えは無い）に入ってゆっくりと疲れを癒した。レストランは8時までやっている、外は大雨だし今夜はレストランで食べることにした。

・ギョーザを肴に生ビール2杯、久しぶりのギョーザと生ビールは実に旨い。メインディナーは800円の和定食、煮物に鮭の塩焼きに味噌汁ぐらいでかなり質素、飲んだ後の食事としては最高！すばらしい。良い気持ちで車のベッドで熟睡した。外は大雨。